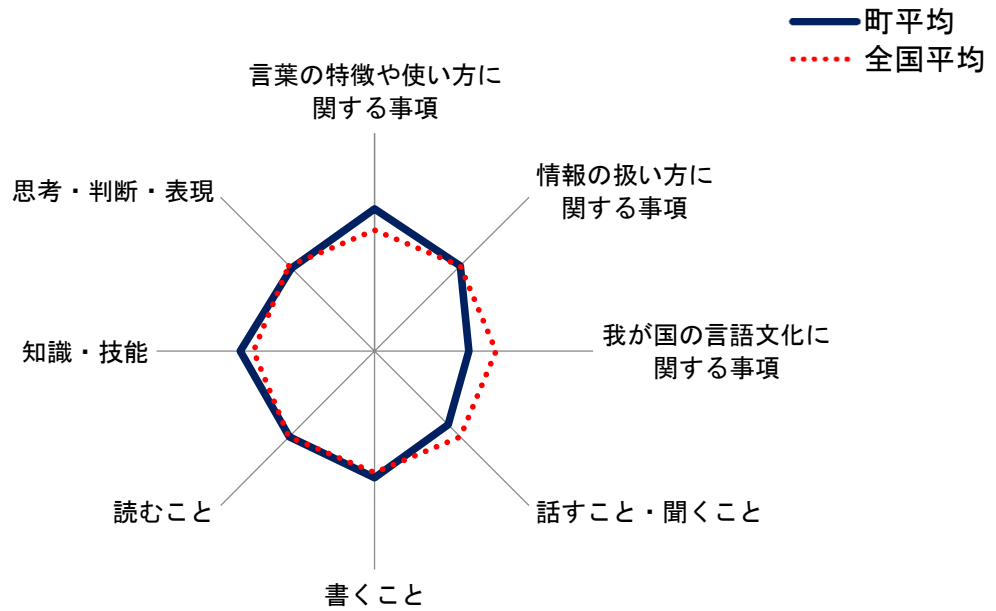
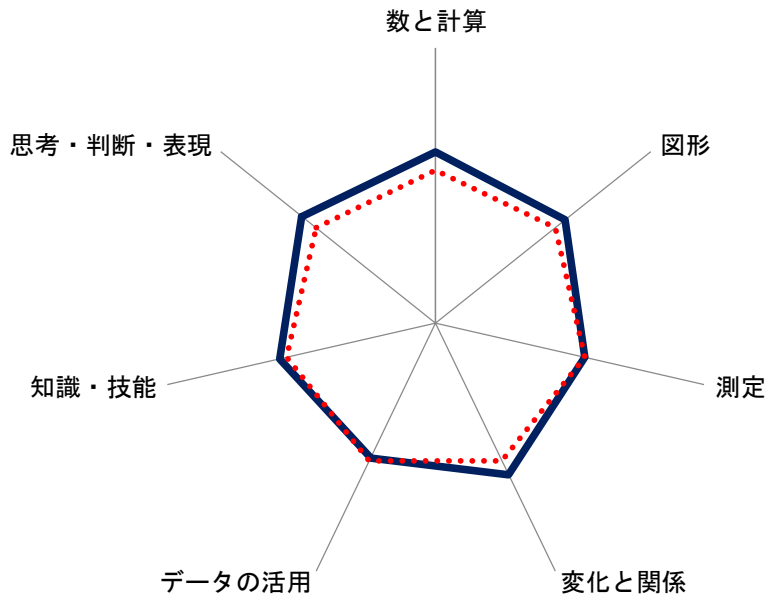


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

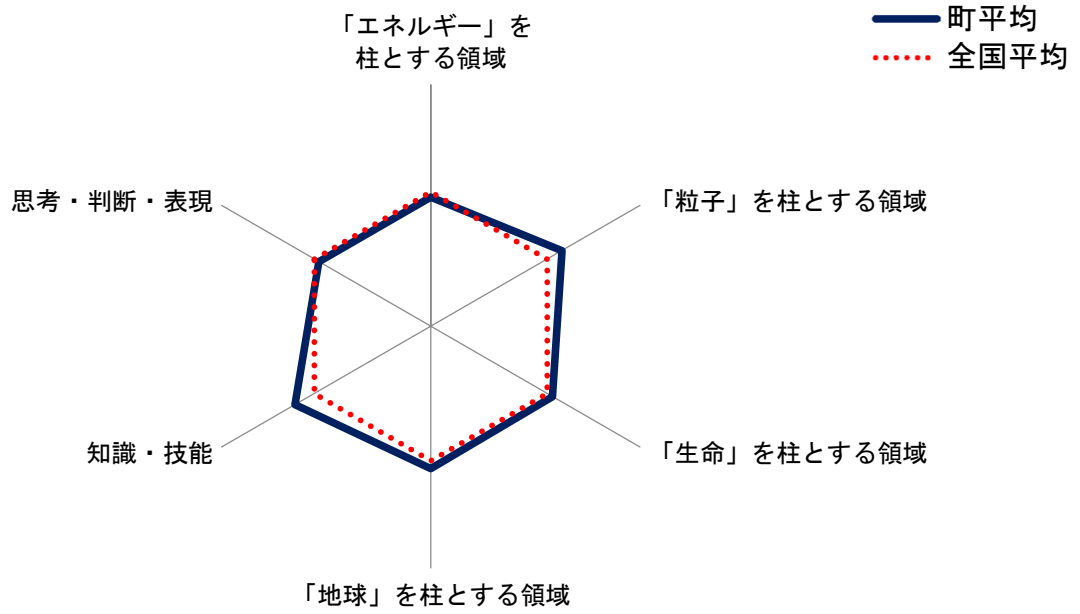


【算数】

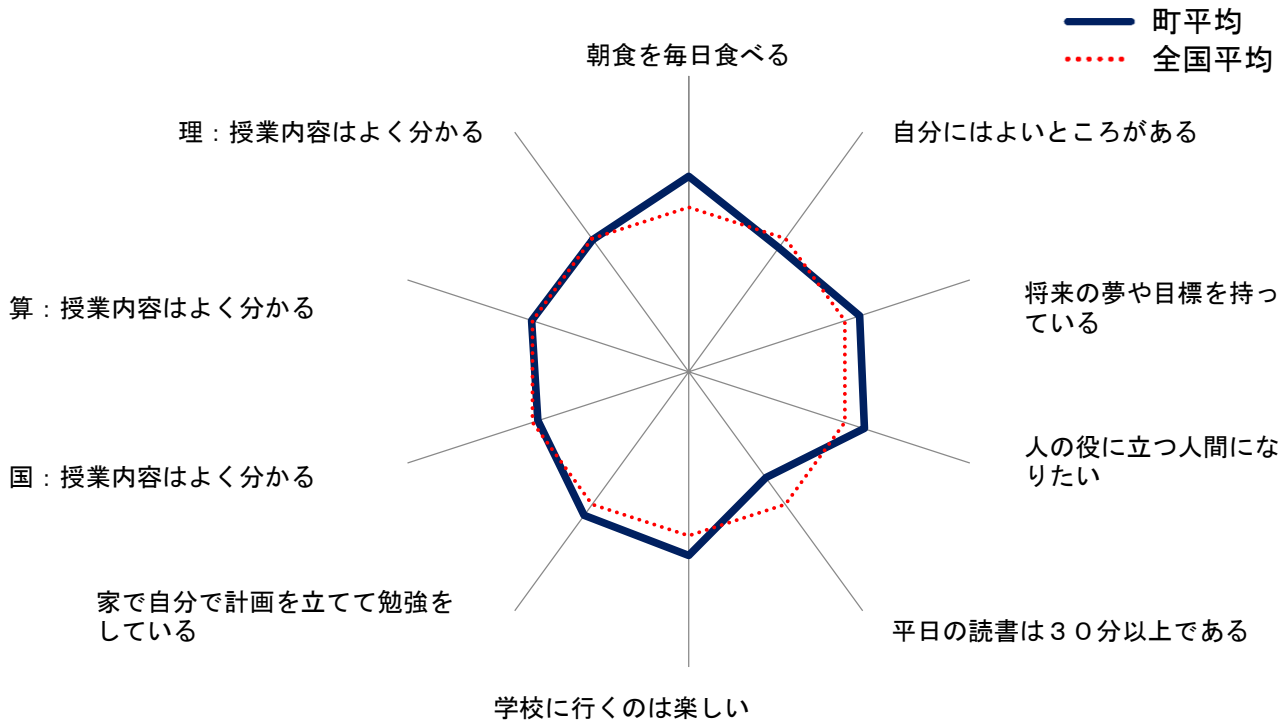


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数、理科は、ほとんどの項目が全国平均を上回っており、良好な結果である。一方、国語は、「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」が全国平均を下回っており、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後も、更なる学力向上に向けて、児童一人一人に対するきめ細かな指導を行い、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」などの項目が前回調査から改善され、良好な結果である。一方、「平日の読書は30分以上である」の項目は、依然として全国平均を大きく下回っており、今後も、読書活動のより一層の充実に向けた取組を重ね、読書に親しむ習慣づくりが望まれる。